

平成 31 年度 第 1 回部長会議 会議記録（要旨）

開催日時：平成 31 年 4 月 2 日（火） 14 時 30 分から 15 時 05 分まで

開催場所：市長公室

出席者：牧野市長、木下副市長、代田教育長、寺澤総務部長、櫻井総合政策部長、細田リニア推進部長、塩沢リニア推進部参事、松下市民協働環境部長、清水健康福祉部長、遠山産業経済部長、寺田産業経済部参事、北沢建設部長、島崎建設部参事、前澤上下水道局長、宮内市立病院事務局長、串原市長公室長、北澤危機管理室長、原会計管理者、吉川議会事務局長、今村教育次長、赤羽目消防長兼総合政策部付参事、高田南信州広域連合事務局長、原田秘書広報課長、塚平財政課長、田中企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

<市長>

来月から元号が変わり令和元年度となる。今年の漢字一文字を「改」としたが、皆さんに改めて考えていただくことをお願いしたい。

各部局の目標や振り返りの理事者ヒアリングを終え、課題を把握する中で、最も感じたのは行財政改革のさらなる推進である。リニア、三遠南信自動車道など様々な大型プロジェクトを抱える中で、飯田市のような 10 万都市の財政規模で進めていくにあたり、今までのペースでは大変厳しい状況であることを改めて痛感している。チーム飯田市役所が一丸となって行財政改革にギアをあげて取り組むことで難局を乗り越えていくことが重要と言える。行革本部長に新副市長に就任していただくことになるが、覚悟をもって、各部局で意識共有を図り、できることは前倒しで進めていただきたい。予算の範囲内という意識ではなく、予算を抑えていかに効果を引き出せるかという観点も含めた心構えで取り組んでいただきたい。

<副市長>

新体制と年度の切り替えの時期で疲れが溜まる頃とは思いますが、積極的に仕事に取り組んでいただきたい。各部の課題についても先送りにするのではなく、早期解決で後半に余裕をもてるよう取り組んでいただきたい。行財政改革には危機感をもってあたり、今後の具体的な協議に向けてよろしくお願いしたい。

<教育長>

各部局が強い組織を目指していただくために、各部長がリーダーシップに加えてフォロワーシップに取り組んでいただくことをお願いしたい。リーダーシップは部下を引っ張り、ビジョンを実現していく役割であるが、フォロワーシップは課長や部下の仕事がうまくいくように悩みを聞いたり、仕事を任せる一方で、任せきりにせず支えたりすることである。そういった力こそ、変化が著しく課題が山積している状況の中で求められるものである。そのような組織が各部署や飯田市全体でできれば目標達成がなされていくと考えている。一年間よろしく申し上げます。

2 協議事項

(1) 組織目標と進行管理について（総合政策部）

◇趣 旨：いいだ未来デザイン 2028 の効果的な推進を目指すために、12 ヶ年計画の前期 4 年の折り返し時点ということをふまえて目標設定と評価を実施する。そのために、重要な事業の内容について改めて確認するとともに、課題の重点化について全庁的な取り組みとして推進していく。

◇論点・課題

- ・戦略計画に基づく事業は年度単位であるため、実行の段階では小回りが利くが、中期的な展開計画が見えにくい面がある。
- ・各事業の成果や市民へのメリットなど具体的に分析し、様々な市民説明に備えると共に効果的な推進を図る。
- ・組織目標について、戦略計画、分野別計画、課題及び懸案事項をきちんと整理して総体を把握していくことが必要。
- ・これらについて、コスト意識と当事者意識をもって担当部局が執行管理を行う。

◇主な意見等

(市立病院事務局長) 分野別シートはいつ示されるか

(企画課長) 担当課では4月中を目処に案作りを進める。

(総合政策部長) シートの取り扱いについては、議会と調整しながら示していく予定である。進行管理については議会の行政評価のご意見もふまえて改善をしていく。

◇協議結果

部長会了承

3 報告事項

(1) 平成30年度飯田市予算執行方針について(総務部)【参考資料】

◇趣 旨: 年度当初にあたり、予算執行方針の確認を庁内に依頼する。

◇主な意見等

特になし

4 閉 会